

コード	Ⅲ-7-13	施策名	防災に関する組織の育成・強化
まちづくりの目標	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)	施策の方針	災害に強い組織・人をつくる
5年後のめざす姿	すべての地域で防災に関する組織が組成され、活動が行われるよう支援体制を築きます。自主防災組織や地域の防災士が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を広め、市民一人ひとりが防災活動を実践できるよう地域ぐるみで支援体制の構築をめざします。		
施策の課題	①地域防災力の向上のため、自主防災組織の設立と活動支援を行ないます。 ②各地域に防災リーダー(防災士)を養成し、市独自のスキルアップ研修を実施し、防災士としての知識や技術の向上を図っていきます。 ③次世代の防災リーダーとして、市内の中学校2年生を対象にジュニア防災リーダーを養成します。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	自主防災組織未結成の自治会の数	自主防災組織未結成の自治会の数	目標	組織	0	0	0	0	0	0
			実績	2	2	2	2	1		
			達成率	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	防災士の数	市主催防災士養成講座(白杵市防災士会登録者数)	目標	人	650	660	670	685	725	
			実績	639	651	663	684	701		
			達成率	%	100.2%	100.5%	102.1%	102.3%		
	ジュニア防災リーダーの育成数【累計】	学校や家庭で防災啓発ができるジュニア防災リーダーの育成数	目標	人	120	140	155	170	184	
			実績	98	98	123	123	146		
			達成率	%	81.7%	87.9%	79.4%	85.9%		
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の進捗状況	やや遅延	指標の分析	・自主防災組織に関しては、結成率は高い状況にありますが、未結成2地区については高齢化・過疎化のため結成が難しい状況にあります。 ・防災士の養成についてはコロナ禍があげ、今年度は17名の養成ができました。 ・ジュニア防災リーダー養成については、今年度は23名の養成ができました。							
		指標達成に向け今後の流れ	防災士やジュニア防災リーダーについては、今後も引き続き養成を行なっていきます。 自主防災組織未結成地区に対して、近隣組織との合併についても検討していただくように働きかけます。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要性	満足度	浸透度
向上領域	2.62	2.08	86.76%
過去の調査結果(領域)	令和3年度 向上領域	令和4年度 向上領域	

向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域
 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域
 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域
 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	防災士の養成・育成事業	自主防災組織のリーダーとして育成し、知識・技術の向上を図ります。	防災危機管理課	333	266	無	—	—	—	
2	ジュニア防災リーダーの育成	市内の中学校2年生を対象とした次世代のジュニア防災リーダーを育成します。	防災危機管理課	—	10	無	—	—	—	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				333	276	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

防災士の資格を取得した後、その資格をどのように活用するか、そして、活用する場(自主防災組織)へどのようにアプローチするかが大事になってくると思われます。また、防災士の高齢化により自主防災組織との連携に不安が残るので、比較的若い世代の防災士養成が必要だと思えます。女性防災士の育成のため、各防災士連絡協議会または各自主防災組織へ呼びかけます。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所屬長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	自主防災組織及び防災士の活動なくして、命を守る行動の定着、自助・共助の精神をもった市民が暮らす災害に強いまちづくりの実現は、厳しいと思われます。皆さんが興味を持つような研修や、実際に必要な避難所開設訓練への防災士やジュニア防災リーダーの積極的参加など、様々な方策を講じて、自主防災組織のさらなる活性化が重要と考えます。過疎化高齢化による自主防災組織未結成2地区には、消防と協力し、対策案の提案など結成に向けて継続して取組みます。